

最新の業界事情

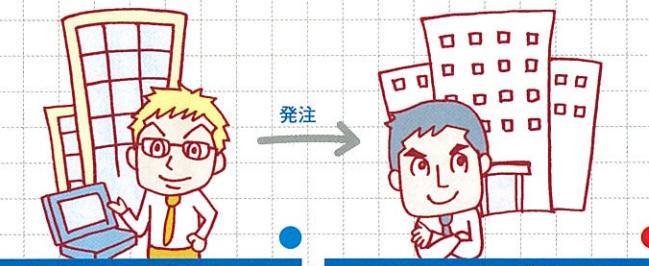
資格が業界共通の評価基準として定着

IT業界というと、一頃世間の注目を浴びたライブドアなどのネットベンチャー系の企業を連想する高校生が多いかもしれない。しかし、一般的には、今回紹介したようなSEをはじめとするコンピュータ技術者たちが活躍する「システム開発」の分野をIT業界といふことが多い。

システム開発の流れは右ページで紹介している通り。最初にIT営業が案件を受注。システムコンサルタントがシステム全体を設計し、それをもとに、プロジェクトマネージャーを中心としたプロジェクト(目的・期間が定められた活動のこと)で実際にシステムを組んでいく。プロジェクトのメンバー構成はピラミッド型で、細かな部分の開発に携わるSEやプログラマーは人数も多い。一つのプロジェクトに複数の会社のメンバーがかかわることが多く、転職でキャリアアップする人も多いので、情報処理技術者などの資格が共通の評価基準として定着しているのもIT業界の特徴だ。

IT業界(システム開発)のさまざまな企業

以下に紹介しているのが、システム開発にかかわっている主な業種だ。特に大規模なシステム開発になると、1社のみで行うケースは少ない。大手のシステムインテグレーターやコンサルティングファームが受注し、全体の設計をして、細部の開発は中小のソフトウェア開発会社に依頼するといったパターンが多い。

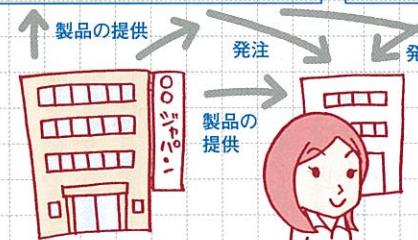


コンサルティングファーム

システムインテグレーター

企業に対して経営改善の提案を行う会社。外資系企業も多い。最近は、経営とITの結びつきが強くなっているため、システムインテグレーターとしての機能を強化するコンサルティングファームが増えている。

システムのコンサルティングから設計、開発、運用、保守、管理までを行なう会社。Sier(エスアイア)ともいう。NTTや富士通、日立、NECなどの大手通信会社、メーカーのグループ会社のほか、独立系のSierも多数。



ITベンダー

ソフトウェア開発会社

ベンダーとは販売会社という意味。IT業界では、ソフトウェア製品やハードウェア製品を開発し、販売する会社。Sierなどはこれらの製品を組み合わせてシステムを構築する。

SE、プログラマーが多数在籍し、ソフトウェアの開発を行う会社。Sierからシステムの一部の開発を依頼されるほか、オリジナルのパッケージソフトを手掛ける会社も多い。

ネットワークインテグレーター

コンピュータネットワークの構築や保守などをを行う会社。顧客から直接受注するケースもあれば、Sier等からシステムに必要なネットワーク構造を依頼されるケースもある。

用語解説

サーバー	ネットワークで接続されたほかのパソコンに対して、さまざまな機能やサービスを提供するコンピュータのこと。システムの中核。
仕様書	コンピュータプログラム(ソフトウェア)を作成するために、必要な機能や構造などを記した設計図のこと。
情報セキュリティ	コンピュータウイルスや外部からの不正アクセスに対して、システム内部の情報を守ること。近年、重要度が高まっている。
ソフトウェア	コンピュータプログラムのこと。Windowsなどの基本ソフト(OS)とWordやExcelなどのアプリケーションソフトがある。
ハードウェア	パソコン本体やマウス、メモリ、周辺機器などの装置のこと。実体のないプログラムであるソフトに対して、物理的なモノがハード。
プログラミング言語	コンピュータプログラムを作成するための専用言語。どのような指示に対してどのように動作するかを記述する。Java、C言語など有名。

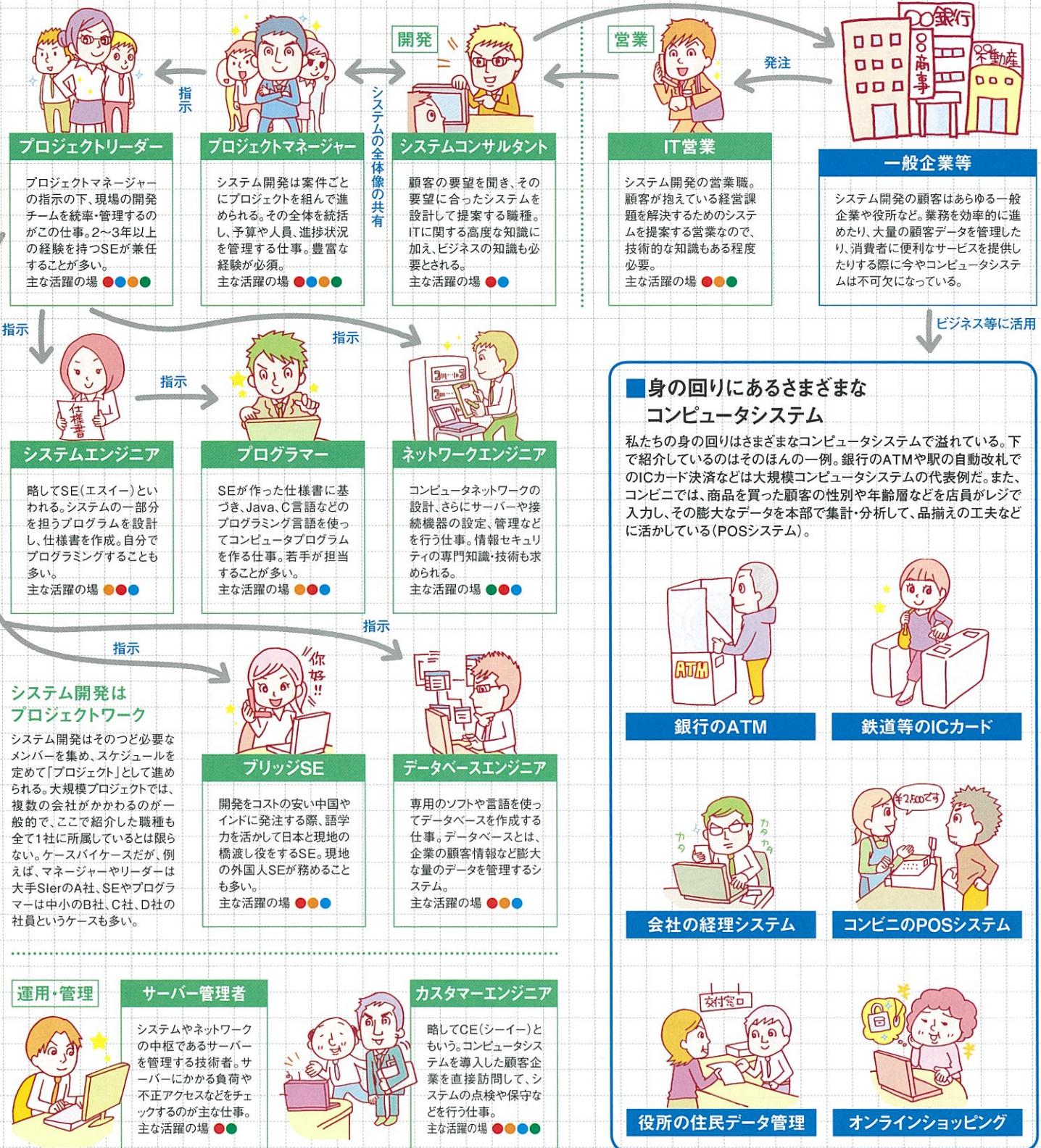
IT系のシステム開発には多くのプロがかかわっている

「IT業界」という言葉はよく目にしていても、実際にどんな仕事をする業界なのか明確にイメージがつかない高校生は多いかもしれない。そのIT業界の代表的な業務がコンピュータシステムの開発。そこには技術者をメインに実際にたくさんのプロが携わっている。その全体像を紹介しよう。

取材・文／伊藤敬太郎 撮影／田中史彦 イラスト／藤井昌子

コンピュータシステムの開発や運用にかかわるさまざまな職種

*「主な活躍の場」の●●●●マークは、「IT業界のさまざまな企業」のマークと合わせて見てください。



仕事がわかる業界図鑑

vol.15 IT業界

IT業界の職種＆業種相関図

システム開発には、日本を代表する大手企業から中小企業までさまざまな規模、役割の会社がかかわっている。そこではどんな職種の人たちが活躍しているのかを詳しく見ていこう。

提案

営業

発注



一般企業等

システム開発の顧客はあらゆる一般企業や役所など。業務を効率的に進めたり、大量の顧客データを管理したり、消費者に便利なサービスを提供したりする際に今やコンピュータシステムは不可欠になっている。

ビジネス等に活用

身の回りにあるさまざまなコンピュータシステム

私たちの身の回りはさまざまなコンピュータシステムで溢れている。下で紹介しているのはそのほんの一例。銀行のATMや駅の自動改札でのICカード決済などは大規模コンピュータシステムの代表例だ。また、コンビニでは、商品を買った顧客の性別や年齢層などを店員がレジで入力し、その膨大なデータを本部で集計・分析して、品揃えの工夫などに活かしている(POSシステム)。



銀行のATM



鉄道等のICカード



会社の経理システム



コンビニのPOSシステム



役所の住民データ管理



オンラインショッピング